

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	18-	5
事業名	文化事業イベント経費	
	会計	款
	一般	10
		5
		2
施策	3	心豊かなまち
	3-2	文化のかおるまちをつくる
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援
主要施策	②文化イベント等の充実	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	様々な文化事業を行い、町民が文化に触れる機会を提供する。
事業内容	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカルの参加型の文化事業を開催することで、町民にさまざまな文化に触れる機会を提供する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
	1	文化イベント入場者数(平均人数)	年間入場者数/イベント数		544	560	人	↑	600
2									
3									
4									
5									
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					24,649	25,632	26,264		
財源内訳	直接事業費 A				24,649	23,046	23,678		
	うち一般財源				20,071	5,203	5,210		
人件費(千円) B					0	2,586	2,586		
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.31	2046	0.31	2046
	臨時職員(人・千円)				0	0.3	540	0.3	540

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカル全ての事業において、町が主催となっている。
②H30年度に実施した取り組み	こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、音楽祭、ミュージカルの町民参加型の文化事業を開催した。	④今後の改善計画	3大文化事業のチケット収入増に努める。